

令和2年度事業報告

今年度は各面に於いて、新基軸による新たな経済・生活スタイルでの節目となり、反転攻勢を期しての事業年度と位置づけた重要な年であったが、全てにおいて根源となった感染症の早期収束は、期待・予測をはるかに打ち破る勢いで猛威を振るい、社会全体に甚大な影響を与え、各界への打撃は計り知れない規模で、当センターも残念ながら例外たりえず、各指標とも大幅な苦戦となってしまった。

公益法人として重点的施策に寄り添うべき富谷市のイベント等も、大幅見直しや中止・延期を余儀なくされる等、民間・公共に係わらず業種や形態の区別無く、請負派遣共に受注額は、不本意ながら前期実績に届かなかった。

安全最優先・適正就業・コンプライアンスの遵守については、事故件数、トラブル評価・信頼失墜の事案も大幅に減少改善され、地道な取り組みが浸透されていると思われる。

新規会員の拡大促進と女性部の増強は、積極的入会説明会の実施や、現会員に対するキャンペーン等により、相応の成果を得ることができたが、それを上回る退会者があり、退会の理由が加齢・病気・介護・他で就職等と説得が難しいことから、会員数は結果として17名の減少となった。

会員の高齢化が益々進むことから、退会抑止策を念頭とした会員確保が不可避であり、特にリーダーの円滑な世代交代も見据えた新規会員の補充拡大強化が急務である。

就業機会の開拓拡大は、社会全体の動向から攻勢より、現状確保の守勢に回らずを得ず、大変苦戦を強いられたが、情勢をタイムリーに判断しながら、現行取り扱い主要職種に加え、子育て支援・サロン・なごみ・ワンコインサービス・空き家対策・施設清掃管理・富谷茶等のボリュームアップを図り、これから見込める富谷市観光交流ステーションや、市の諸施策を効果的に取り込み、全体の事業実績の拡大に繋ぎたい。

かねてから言われて久しい高齢化社会、労働力不足、生活基盤である環境や子育て事情の変化等々、シルバー人材センターの理念の下、まさに我々会員の「出番」です。

不本意ながら今年度は厄災に見舞われ、「出番」も「居場所」も狭まり、相互の連帯・協調の機会も失われましたが、本来の躍動回帰を目指し、シルバーパワーで頑張りましょう。

以下、令和2年度の事業実施状況を報告いたします。

○令和2年度事業計画と事業実績、達成率

項 目	事業計画	事業実績	達成率
正 会 員	520 人	460 人	88.5%
特別会員	1 人	1 人	100%
賛助会員	11 人	11 人	100%
受注件数	1,800 件	1,398 件 (内派遣 64 件)	77.7%
受注契約金額	270,000 千円	253,865 千円	94.0%
(受託事業)	(150,000 千円)	(140,346 千円)	(93.6%)
(労働者派遣事業)	(120,000 千円)	(113,519 千円)	(94.6%)
就業延人員	53,000 人日	48,296 人日	91.1%
就 業 率	93%	92.4%	99.4%
粗 入 会 率	3.70%	3.27%	88.4%

1. 就業開拓提供事業

より多くの会員に就業の機会を提供するために、高齢者の知識、技能、経験を把握分析し、法令遵守を念頭におきながら、お客様、地域のニーズに対応する仕事の受注を目指すため、以下のことを実施した。

- (1)チラシの配布（富谷市一部地域）
- (2)就業機会開発員・理事・会員・職員による就業機会の開拓
（事業所訪問、一般家庭訪問、会員のロコミ等）

2. 普及啓発事業

地域社会にシルバー事業への理解と高齢者の加入促進を図るため、以下のことを実施し、また独自事業「ギャラリーなごみ」を運営し、しんまち通りの活性化に貢献するとともに女性会員の就業の場を創出した。

- (1)普及啓発月間における活動
- (2)チラシ配布
- (3)会報の発行
- (4)ホームページリニューアルによるタイムリーな情報公開
- (5)広報紙に会員募集を掲載
- (6)「ギャラリーなごみ」の新聞、雑誌への掲載、テレビ等での放映

3. 調査研究

会員の就業率の向上、発注者に対するサービス（マナー）内容の改善・充実、さらには新たな就業等の活動機会開拓の方策を実施するために行っており、以下のことを実施した。

- (1)お客様満足度調査の実施(個人発注者及び企業に対するアンケート調査)
- (2)役員研修会の実施

演題「公益法人における理事・監事の責務」

講師 宮城県シルバー人材センター連合会 専務理事 齋 繁氏

4. 相談事業

一般高齢者及び会員、育児支援利用者を対象に、以下のことを実施し、就業等に関する情報を提供した。

- (1)入会説明会 毎月1回開催
- (2)就業相談 随時
- (3)育児支援相談 随時
- (4)家事支援相談 随時
- (5)会員対象に面談を実施 随時

5. 安全・適正就業の推進

仕事の品質の向上と確保を図り、事故ゼロ・クレームゼロを目指し、顧客の信頼向上に

努める。毎月1日と15日を「安全の日」と定め安全意識の高揚を図り、また各就業現場において危険予知活動を行い、事故を未然に防ぐよう努めた。

- (1) 毎月安全・適正就業委員会の開催
- (2) 安全パトロールの実施(年間11回実施)
- (3) 各種安全講習会の実施
- (4) 安全就業推進計画の遂行
- (5) 安全・適正就業推進大会の実施
- (6) 安全標語の募集及び表彰
- (7) 適正就業の普及推進(派遣事業の拡大強化)

6. 会員増強の促進

事業計画の目標値をもとに、会員の加入促進を図った。

- (1) 入会説明会の実施(毎月1回)
- (2) 市広報紙への会員募集の記載
- (3) 会員募集チラシ配布(富谷市一部地域)

7. 独自事業

当センターの特徴的な事業として、書道教室の運営や小物製作販売「ギャラリーなごみ」の運営をおこなっている。これらの事業は、地域の方々にご利用いただき、地域活性化及び交流の場の提供として貢献した。

(1) 書道教室

毎月2回、大人の部と子供の部を開催し各教室10名の生徒で行った。

(2) 小物製作販売「ギャラリーなごみ」

ア. 市の広報や新聞、テレビ放映等の広報効果により、来客数や他センターからの視察も増え、女性の就業拡大に繋がった。

8. 福祉・家事援助サービスの推進

市が推進する子育て事業の託児業務や、高齢者世帯の増加が進む中で、地域住民の福祉ニーズに応えられるよう、福祉家事援助サービスに対応できる会員の加入促進を図った。

(1) 育児支援サービス

- ア. 子育てサロン「ほっと育く」の継続運営
- イ. 子供の一時預かり
- ウ. 親子で楽しむリトミック教室の実施(外部講師)

(2) 家事援助サービス

- ア. 高齢者及び子育て世代への家事援助

(3) ワンコインサービス

- ア. 富谷市地域包括支援センターとの連携で就業拡大

9. 社会参加活動の推進

「自主・自立、共働・共助」の精神を高めるためにも、ボランティアや社会参加を通して、地域社会への貢献と連携を深めた。

- (1) 子供達の安全・安心を守る巡回活動
- (2) 「市公民館まつり」への参加協力について、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。
- (3) 「シルバーの日」の公民館等の清掃作業について、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。

10. 富谷茶による地域活性化と会員就業創出事業の取組

事業4年目にあたり、5月既存の茶畑にて初茶摘み式を実施し、製茶作業を行った。

10月には秋番茶作りを行い、釜炒り茶を試飲した。

年間を通して、既存の茶畑及び幼木茶畑の管理を行った。

市より新たに富谷茶復活プロジェクト事業肥培管理等の業務を受託した。

11. 事業運営の効率化及び健全財政の推進

事業運営にあたって、業務の効率的運営を図り、また公益目的基準に適合するよう健全な財政運営に取り組んだ。

- (1) 不要支出の洗い出し
- (2) 消費節約の励行
- (3) 会計基準の変更による、内部監査の実施